

H132		先端的経済分析	
英名科目名	Advanced Economic Analysis		
大学名	京都先端科学大学		
連絡先	教務センター（京都太秦キャンパス） TEL：075-406-9123		
担当教員	跡田 直澄（経済経営学部・経済学科特任教授）		
開講期間	2021年09月20日(月)～2022年01月17日(月) 5講時 16時00分～17時30分(毎週月曜日) 2021/10/11(月・祝)スポーツの日は授業あり 2021/12/23(木)～2022/1/5(水)の期間は授業なし		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	月曜日 5講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	京都太秦キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	授業は2回の講義と1回のグループ学習をパッケージとして、4テーマで構成される。各テーマ毎に取り上げた理論モデルの意義と応用可能性について、レポートの提出を求める。成績評価は、グループ学習への参加度(40%)とレポート内容(60%)で行う。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>受講条件：前の回の講義で配布されるレジメに目を通しておき、講義後には主要項目について参考図書等で必ず調べておくこと。</p> <p>受講ルール：私語は厳禁とする。私語が過ぎれば、他者への迷惑を助長し、退出を求める。</p> <p>学修上の助言：日本経済新聞の「経済教室」などは、レポート作成に役立ちますから、読んでおくことを推めます。</p> <p>教室について：決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせください。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】</p> <p>グローバル化した世界経済の中で、いずれの国々でも日々新しい経済問題が発生している。経済学も現実を解明するために、1980年前後頃から、さまざまな仮説あるいは学説が登場してきている。本講義では、それらの比較的新しく提案されてきた経済理論モデルを伝統的な経済学の考え方・理論モデルと比較検討しながら、網羅的に紹介しつつ、それぞれの意義と政策的含意を講義し、さらに今日的な課題への応用可能性を受講者各自で分析し、説明できるようにすることを旨とする。</p> <p>【到達目標】</p> <p>サプライサイド重視型モデルを使って応用分析ができる。</p> <p>合理的期待仮説を組み込んだモデルで応用分析ができる。</p> <p>行動経済学の考え方を組み込んだモデルで、応用分析ができる。</p> <p>ゲーム理論の全体像を理解し、応用分析ができる。</p>			
講義スケジュール			
<p>第01回 講義の概要を説明 教育方法：講義法 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。</p> <p>第02回 サプライサイド経済学：概要 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。</p> <p>第03回 サプライサイド経済学の応用 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。</p> <p>第04回 サプライサイド経済学の評価 教育方法：講義用レジメを用いてグループ学習を行う</p>			

授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第05回 合理的期待仮説：概要
教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う
授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第06回 合理的期待仮説の応用
教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う
授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第07回 合理的期待仮説の評価
教育方法：講義用レジメを用いてグループ学習を行う
授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第08回 行動経済学：概要
教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う
授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第09回 行動経済学の応用
教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う
授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第10回 行動経済学の評価
教育方法：講義用レジメを用いてグループ学習を行う
授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第11回 ゲーム理論：概説
教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う
授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第12回 ゲーム理論の応用
教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う
授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。

第13回 ゲーム理論の評価
教育方法：講義用レジメを用いてグループ学習を行う
授業外学修：最終レポート発表の準備

第14回 レポート発表
教育方法：レポート課題を発表し、グループ討論を行う。
授業外学修：最終レポート発表の準備

第15回 レポート発表
教育方法：レポート課題を発表し、グループ討論を行う。

教科書	特になし。
参考書	必要に応じて、講義内で参考図書を紹介する。